

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

グローバルな「人と社会」に貢献し、映像&ITとロボティクスが生み出す人と技術が共に生きる未来を実現する

2 中長期の経営戦略

1. 事業強化とシナジー追求

重点4市場（教育ICT、企業・自治体DX、FAロボット、ビジョンシステム）で映像&ITおよびロボティクスを活用した商品・サービスを展開

3. ロボティクス事業の強化

人手不足解消・生産性向上のためロボット機器と工場改善ソリューション製品を強化。X線検査装置やAIソフト・医療機器などを開発・提供

2. 映像&IT事業の強化

ICT教育機器、DX化需要への対応。教育市場では実物投影機・電子黒板・デジタル教材を、企業市場ではERP・AVシステム・セキュリティ機器を提供

4. M&Aの推進

短期間で新商圏参入を実現し、グループ内シナジーを追求。2017年以降17社・グループがグループ入り。付加価値の高い事業へ昇華させる

3 対処すべき課題

① 事業強化と買収企業連携

- ・重点4市場での映像&IT・ロボティクス活用商品展開
- ・教育・企業市場でのICT機器・DX対応製品の開発強化
- ・工場の自動化・情報化とビジョンシステム開発

② 生産体制最適化とDX推進

- ・国内・中国・アジア協力工場の役割分担見直し
- ・電子部品価格上昇への購買部門強化
- ・社内インフラDX化による業務効率化と働き方改革

③ 人材確保・育成とガバナンス

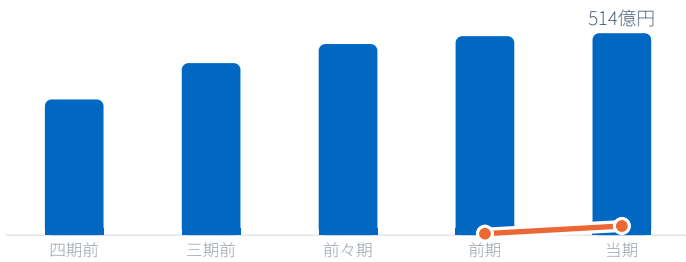
- ・事業拡大に対応する組織力・現場力の強化
- ・ダイバーシティ&インクルージョン推進
- ・社外取締役登用とリスク管理委員会によるガバナンス強化

面接で使えるポイント

- ・映像&ITとロボティクスを核に、教育・医療・FAなど多様な市場で社会課題の解決に貢献する事業体
- ・2021年の経営統合で4社が合併し、カンパニー制導入。2017年以降17社・グループ入りで急速に成長中
- ・VUCA時代にグループ一体で、「ベンチャー企業の機動力」と「大手企業の力強さ」を兼ね備えた企業を目指す

証券コード 6629

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
514億円営業利益率
4.5%財務健康度
10点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 38.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
525万円

電気機器内 209位/225社

平均年齢
45.8歳

電気機器内 40位/225社

平均勤続
4.4年

電気機器内 219位/225社

女性管理職
12.2%

電気機器内 20位/182社

男性育休
57.1%

電気機器内 143位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: テクノホライゾン(株)【6629】：決算情報

